

6月3日一関地区交流会報告

日時：2026年6月3日（水）10:00～12:00

場所：一関市保健センター 栄養指導室

参加：端坂支部長、佐藤副支部長
他11名

1. 司会（佐藤副支部長）挨拶

2. 支部長挨拶

報告

- 5月10日医療講演会について
- その他

3. 近況報告・困りごと

- 一関市にある県立病院でパーキンソン病と診断されて7か月。
マドパー100mg×4処方されていたが眠気が強いと主治医に伝えたところ、100mg×3に処方変更された。眠気はなくなりましたが動きにくくなった。その旨、主治医に伝えたが、我慢して下さいと言われた。4時間以上あけて服薬して下さいと指定されている。

端坂：パーキンソン病と診断されて7か月ということだが、一般的に3年～5年は「ハネムーン期」といわれ、Lドパ製剤が非常によく効き、症状が安定して日常生活を支障なく送れると言われていています。マドパーを100mg×3服用しても動きにくいということならば、パーキンソン症候群の可能性もあると思われるので、主治医に症状を詳しく伝え、経過を注意深く観察した方が良いでしょうと思います。4時間以上あけて服薬するように指示されていると言われましたが、4時間以上あけるとマドパーの薬効がきれてしまうのでそのような指示はあり得ないと思います。薬効が切れる前に服用するよう指示されるのが普通だと思う。例えば「4時間おき」とか8時、12時、16時というように。しかし、各地区の交流会で「処方どおりに服薬しているが、次の服薬時間になるまでに動きが悪くなる」との話をよく聞く。ほとんどが食後服用指定となっていて、薬の効果時間を考えた服薬時間指定になっていない。食後30分以内に服用すると食事特にタンパク質の影響で薬の効きが悪くなるため、食前1時間前（空腹時）が理想と言われている。主治医と相談して下さい。状態記録表をつけて客観的な情報を伝えることが効果的と思われる。

- 起床時に動きが悪い。

端坂：薬が切れていると思われるため、主治医と相談して起床前に布団の中でLドバ50mgでも服用すれば動きにくさは改善されると思います。

ちなみに「オンジェンディス」が処方されている場合はLドバ製剤服用から1時間以上あけるようになっていきますので注意して下さい。他地区でLドバ製剤と「オンジェンディス」を一緒に服用していた方がいました。1時間以上あけて服用するようにしたら、朝の動きが良くなったと言っていました。

次回予定

日時：2026年8月20日（木）10:00～12:00

場所：一関市保健センター 栄養指導室